

日本研究・知的交流事業に必要な経費

日中交流事業費

1. 人物交流事業費

- (1) 受託事業
- (2) 高校生等招へい事業
- (3) 交流拠点設置運営事業（招へい）

2. 催し等事業費

- (1) ネットワーク整備事業（催し・主催）
- (2) ネットワーク整備事業（催し・助成）
- (3) 交流拠点設置運営事業（催し）

3. 文化資料事業費

- (1) ネットワーク整備事業（文化資料）

人物交流事業費 (1) 受託事業 (日中交流センター)

日中交流の分野で、国際交流基金の業務趣旨に合致する事業を外部から受託し実施する。

合計額 54,059,197 円

	事業名	期間	事業内容
1	日中高校生交流基盤整備・強化事業	07.06.01～ 08.03.31	ウェブサイト「心連心コミュニティサイト」(日本語/中国語。http://www.chinacenter.jp) は、日中の最新文化等の情報発信を行っている他、閲覧者が、自分の意見・感想を書き込むことで、他の閲覧者と交流を図ることができる。同時翻訳機能により、言語の問題を気にすることなく、交流することが可能であり日中の特に若い世代によるインターネット上の交流を促進する。
2	中国高校生長期招へい (第二期生)	07.09.04～ 08.07.26	中国の高校生が日本の政治、経済、伝統、文化を実際の日本での生活を通じて見聞し、また、学校や一般家庭でのホームステイなどを通して対日理解を深め、同時に日本の高校生たちにも同年代の中国の高校生と交流する機会を提供することにより、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる青年間の信頼関係を築くことを目指す。
3	中国高校生長期招へい事業 (第三期生)	08.02.15～ 09.07.25	中国の高校生を招へいする準備を行う。

人物交流事業費 (2) 高校生等招へい事業

中国の高校生を招へいし、日本の社会と文化を知る機会を提供するとともに、日本の人々にも中国人と直接交流し、中国の文化を知る機会を提供する。

合計額 50,286,879 円

	事業名	人数	期間	事業内容
1	長期 (直轄)・一期生	32	06.09.07～ 07.07.27	中国の高校生が日本の政治、経済、伝統、文化を実際の日本での生活を通じて見聞し、また、学校や一般家庭でのホームステイなどを通して対日理解を深め、同時に日本の高校生たちにも同年代の中国の高校生と交流する機会を提供することにより、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる青年間の信頼関係を築くことを目指す。
2	長期 (AFS委託)・一期生	5	07.04.01～ 07.07.31	中国からの一年以上の長期招へい事業を一貫して実施しているAFSに長期招へい事業の一部 (5名) を委託。国際交流基金として初めて実施する高校生の長期招へい事業のノウハウを、経験を有するAFSから習得する。中国の高校生が日本の政治、経済、伝統、文化を実際の日本での生活を通じて見聞し、また、学校や一般家庭でのホームステイなどを通して対日理解を深め、同時に日本の高校生たちにも同年代の中国の高校生と交流する機会を提供することにより、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる青年間の信頼関係を築くことを目指す。
3	長期 (直轄)・第二期生	37	07.09.04～ 08.07.26	中国の高校生が日本の政治、経済、伝統、文化を実際の日本での生活を通じて見聞し、また、学校や一般家庭でのホームステイなどを通して対日理解を深め、同時に日本の高校生たちにも同年代の中国の高校生と交流する機会を提供することにより、日中両国の長期的な関係発展の基礎となる青年間の信頼関係を築くことを目指す。

日中交流センター事業費

人物交流事業費 (3) 交流拠点設置運営事業 (招へい)

現代日本の最新情報に接する機会が比較的限られる中国の地方都市において、日本情報発信と日中間の人的交流を目的とした「ふれあいの場」を設置し、日本文化や社会に対する関心を喚起する。

合計額 774,685 円

	事業名	氏名	現職	機関	期間	事業内容
1	中国「ふれあいの場」スタッフ招へい	范敏 郭楠 孟思齊	長春図書館 業務副館長 長春市人民政府外事弁公室 亞洲処科員 広島四川中日友好会館 職員	長春図書館 長春市人民政府外事弁公室 広島四川中日友好会館	08.02.25～ 08.02.29	中国に展開中である「ふれあいの場」の中国人スタッフを招へいし、事業計画を協議する他、日本の図書館や類似施設の見学を通じ、ディスプレイ方法や運営方法を習得してもらい、また、今回の訪日を通じ、日本及び日本人への親近感醸成を図り、帰国後、その経験が還元されることを目的とする。

催し等事業費 (1) ネットワーク整備事業 (催し・主催)

将来にわたり日中間のかけ橋となり得る人々のネットワークを構築し、日中交流の基盤強化を図る。

合計額 2,034,582 円

	事業名	協力機関	期間	事業内容
1	日中韓文化交流フォーラム	(財)文化財保護・芸術研究助成財団	07.10.10～ 07.10.12	東北アジア地域で、民間主導の文化交流を積極的に展開・支援し、この地域の共同繁栄と発展に寄与することを目的とする日中韓文化交流フォーラムの第三回目会議を実施する。

催し等事業費 (2) ネットワーク整備事業 (催し・助成)

日本と中国の市民レベルの交流基盤を強化するため、将来に亘って継続的な交流事業の担い手となる人々のネットワーク形成を目的とする事業の実施経費の一部を助成する。

合計額 1,601,020 円

	事業名	助成機関	期間	事業内容
1	日中児童共同制作	同時代児童芸術国際交流研究会	07.07.15～ 07.09.30	中国側協力校を通じ公募・選抜した、日本に関心を有する小学生を日本に9日間招へいし、同様に日本国内協力校が公募・選抜した日本人小学生とともに、関西地域の見学研修を行う。参加生徒には互いの研修の様子や町の風景をビデオ撮影させ、その記録を日本及び中国の協力校等で上映し、両国の一般市民の相互理解促進の一助とする。

日中交流センター事業費

	事業名	助成機関	期間	事業内容
2	日中社会企業支援組織ネットワーク形成のための交流研究事業	特定非営利活動法人エティック	07.09.01～ 08.03.31	日中両国の市民セクターが注目される中、日中における社会起業家や事業型NPOを支援する中間支援組織同士の研究交流事業を実施する。3日間の交流研究大会及びプレ・セッションでは、中間支援組織のキャパシティ・ビルディング、ビジネスとNPOのパートナーシップ促進についての研究発表を行い、両国の社会起業的取り組みに関する問題意識を共有、日中の中間支援組織の協働基盤を形成する。
3	京論壇	京論壇	07.08.27～ 08.03.31	北京大・東京大の学生によるワークショップを歴史・安全保障・環境・経済の4分科会分けて実施、日中間の問題を多角的に検証する。北京・東京の両都市でのフィールドワークやディスカッションを経て、深い議論の構築を目指す。各ラウンド最終日には、協力者や一般聴衆を前にして参加者がプレゼンを行い、建設的な提言を出す。実施後、活動の総括及び提言を行うため、準備過程や議論を詳細にまとめた書籍を出版した。

催し等事業費 (3) 交流拠点設置運営事業 (催し)

合計額 35,215,364 円

	都市	共催・協力機関	期間	事業内容
1	南京	金陵図書館	07.04.01～ 08.09.30	江蘇省南京市の金陵図書館内に開設する南京「ふれあいの場」事業の運営を支援する。
2	成都	広島・四川中日友好会館	07.04.01～ 08.03.31	四川省成都市の広島・四川中日友好会館内に開設する成都「ふれあいの場」事業の運営を支援する。
3	長春	長春図書館	08.01.01～ 08.03.31	吉林省長春市の長春図書館内に開設する長春「ふれあいの場」事業の運営を支援する。
4	延辺	延辺大学日本学研究所	08.03.01～ 08.03.31	吉林省延吉市の延辺大学内に開設する延辺「ふれあいの場」に対し、現代日本文化紹介コンテンツ送付等の助成を行う。
5	南通	南通職業大学	08.03.01～ 08.03.31	江蘇省南通市の南通職業大学内に開設する南通「ふれあいの場」に対し、現代日本文化紹介コンテンツ送付等の助成を行う。

日中交流センター事業費

文化資料事業費 (1) ネットワーク整備事業 (文化資料)

将来にわたり日中間のかけ橋となり得る人々のネットワークを構築し、日中交流の基盤強化を図る。

合計額 21,572,309 円

	事業名	都市	共催・協力機関	期間	事業内容
1	「心連心 日中交流コミュニティサイト」運営		日中友好会館	07.04.01～ 08.03.31	ウェブサイト「心連心コミュニティサイト」(日本語/中国語。http://www.chinacenter.jp)は、日中の最新文化等の情報発信を行っている他、閲覧者が、自分の意見・感想を書き込むことで、他の閲覧者と交流を図ることができる。同時翻訳機能により、言語の問題を気にすることなく、交流することが可能であり、日中の特に若い世代によるインターネット上の交流を促進した。
2	ラジオ番組制作・放送 (H19)	広州市他の24放送局	ノウリッジ・メディア産業(有)	07.03.20～ 08.03.31	中国国内で日本のポップスを中心とする音楽情報、および音楽にまつわる流行情報等を紹介するラジオ番組を制作・放送する。ノウリッジ・メディア産業との共同事業として実施。
3	ラジオ番組制作・放送 (H20)	広州市他の25放送局	(株)ナレッジ・アンド・メディア	08.03.17～ 09.03.31	日本の”流行音楽”と”流行情報”を中国語で紹介するラジオ番組を制作し、日本の今の文化に関する情報が少ない中国国内各地域の主要FMラジオ局に無償もしくは低額で提供し、放送を実現した。